2025 年 3 月 21 日

報道関係各位

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

関西大学との「連携協定」締結のお知らせ

～ビジネスデータサイエンス学部と連携し、データサイエンティスト育成と社会実装を推進～

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：荒木直也、以下 H2O）は、3 月 14 日、関西大学ビジネスデータサイエンス学部（所在地：大阪府吹田市、学部長：鷲尾隆、以下 BDS 学部）と「連携協定」を締結しました。H2O は、4 月に新設される同学部と演習やインターンシップの共同開発および実施などで連携し、データ解析を通じて生活者への理解を深め、事業拡大や新規事業開発を担うデータサイエンティストの人材育成、そして、データサイエンスの社会実装に向けた産学連携の推進を目指します。



「連携協定」締結時の様子

（左から、H2O 常務執行役員 渡邊学、関西大学 BDS 学部長 鷲尾隆）

【本協定の目的と理由】

専門性の高いデータサイエンス領域で学術的な支援をいただき、当社および同学部のリソースを生かして、データビジネスの活性化および双方の取り組みの認知度向上に取り組みます。

【本協定の内容】

連携協定における主な連携事項は以下のとおりです。

（1） 両者が有する知的資源、人材を活用した教育研究に関すること
（2） 両者が共同で実施する事業の企画、調整及び推進に関すること
（3） 産学連携の推進に関すること
（4） その他目的を達成するために必要な事項に関すること

【締結後の具体的な取り組み内容】

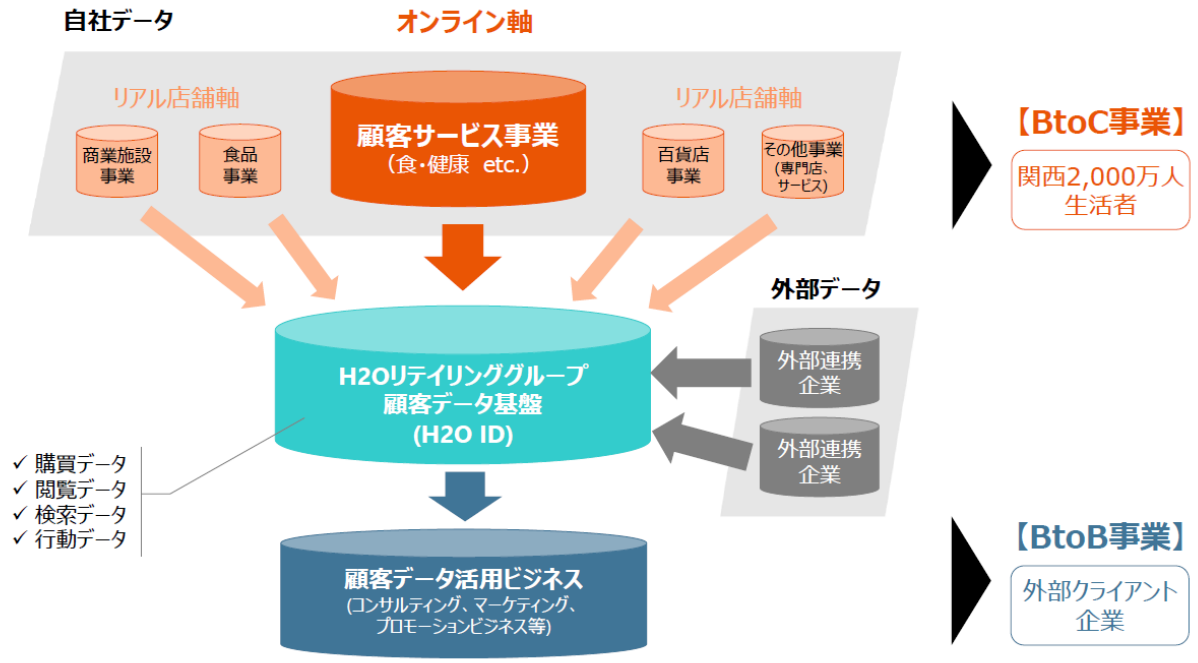
連携協定における主な取り組み内容は以下のとおりです。

（1）PBL 演習（※）の共同開発および実施
（2）インターンシップの共同開発および実施

※PBL 演習とは、企業との連携を通して実社会のデータに触れ、プログラミングやチームビルディングなどを通し、データ分析・課題発見を行うことで実践力を身に着ける科目です。 連携企業に対して課題解決策のプレゼンテーションまでを行うことも想定しており、現実にある課題に触れながら学修に取り組みます。

【ねらい】

H2O は、中期経営計画（2024-2026 年度）において、新たな収益源となる顧客データを活用したビジネス展開を掲げています。具体的には、百貨店や食品スーパー等の事業活動における顧客とのさまざまな接点に加え、食サービス、健康サービスをはじめとするアプリを使った新たなサービス事業から得られる多角的でアクティブな顧客データを活かしたビジネスを想定しています。H2O の持つ豊富な顧客データを同学部が学術的に活用し、データに基づいてビジネスを拡大・開発できる人材を育成します。



※関西大学のプレスリリースを添付しておりますので、併せてご参照ください。

本件に関する報道関係者のお問い合わせ先
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 メディアリレーション部 TEL 06-6367-3181

KU EXPRESS
関西大学 プレスリリース

H2O RETAILING

KANSAI UNIVERSITY

ビジネスデータサイエンス学部・連携協定　2025 年 3 月 21 日／No.79

■ 4 月開設のビジネスデータサイエンス学部 ■
エイチ・ツー・オー リテイリングと連携協定を締結
～ 企業連携で PBL 演習・インターンシップを共同開発 ～

2025 年 4 月 1 日に開設するビジネスデータサイエンス学部（以下、「BDS 学部」）は 3 月 14 日に、エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社（以下、「H2O」）と連携協定を締結しました。H2O は、「阪急百貨店」「阪神百貨店」の計 15 店舗の百貨店と、「阪急オアシス」「イズミヤ」「関西スーパー」など約 230 店舗のスーパーマーケットを有する、関西の流通事業の核を担う小売グループです。本協定を通じて、企業と連携しながら実社会のデータに触れ、プログラミングやチームビルディングを通じた PBL 演習やインターンシップの共同開発を行い、データ分析、課題発見およびその解決の実践力の育成を推進します。

本件のポイント
- **PBL 演習とインターンシップを共同開発し、実社会のデータ活用を通じた課題解決の実践力を養成**
- **産学連携を通じ、データサイエンス教育の強化と社会実装を推進**
- **H2O との連携を促進し、BDS 学部の特色を強化**

BDS 学部は、データサイエンスの学術的知見と H2O の流通・小売業における豊富な実データを活用し、データビジネスの活性化と高度なデータサイエンティストの育成を目指します。本協定により、企業との協働を通じた実践的な教育を推進し、データ活用の社会実装を加速します。

また、H2O にとっても本協定は、データ解析を通じた生活者理解の深化や、新たな事業機会の創出につながります。特に、百貨店や食品スーパーなどの多様な接点から得られる顧客データを学術的に活用し、実証的な分析を行うことで、データドリブンな経営戦略の強化が期待されます。さらに、H2O の中期経営計画（2024-2026 年度）において掲げる、顧客データを活用した新たな収益モデルの構築にも貢献する取り組みとなります。

【本協定における主たる連携事項】

（1）両者が有する知的資源、人材を活用した教育研究に関すること
（2）両者が共同で実施する事業の企画、調整及び推進に関すること
（3）産学連携の推進に関すること
（4）その他目的を達成するために必要な事項に関すること

【締結後の具体的な取り組み】

（1）PBL 演習（※）の共同開発および実施
（2）インターンシップの共同開発および実施

※PBL 演習とは、企業との連携を通して実社会のデータに触れ、プログラミングやチームビルディングなどを通し、データ分析、課題発見とその解決に取り組むことで実践力を身に着ける科目。連携企業に対して課題解決策のプレゼンテーションまでを行うことも想定しており、現実にある課題に触れながら学修に取り組む。



＜「連携協定」締結時の様子
（左から、渡邊学（H2O 常務執行役）、
鷲尾隆（関西大学 BDS 学部長就任予定者）＞

■ ビジネスデータサイエンス学部の特色と今後の展望

ビジネスデータサイエンス学部は、ビジネスとデータサイエンスを融合した実践的教育を重視しています。本協定を通じて、企業と連携した実社会でのデータ分析経験を学生に提供し、即戦力となる人材育成を推進します。また、H2O との協定を皮切りに、今後も多様な企業と連携を進めることで、学部の特色をより際立たせ、産業界とともにデータサイエンスの発展に貢献していきます。

この件に関するお問い合わせ先
関西大学　総合企画室 広報課　　担当：伊地知、小林、明原
〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35
Tel.06-6368-1937 Fax.06-6368-1266